

インドネシア



KBRI
TOKYO

駐日インドネシア大使館



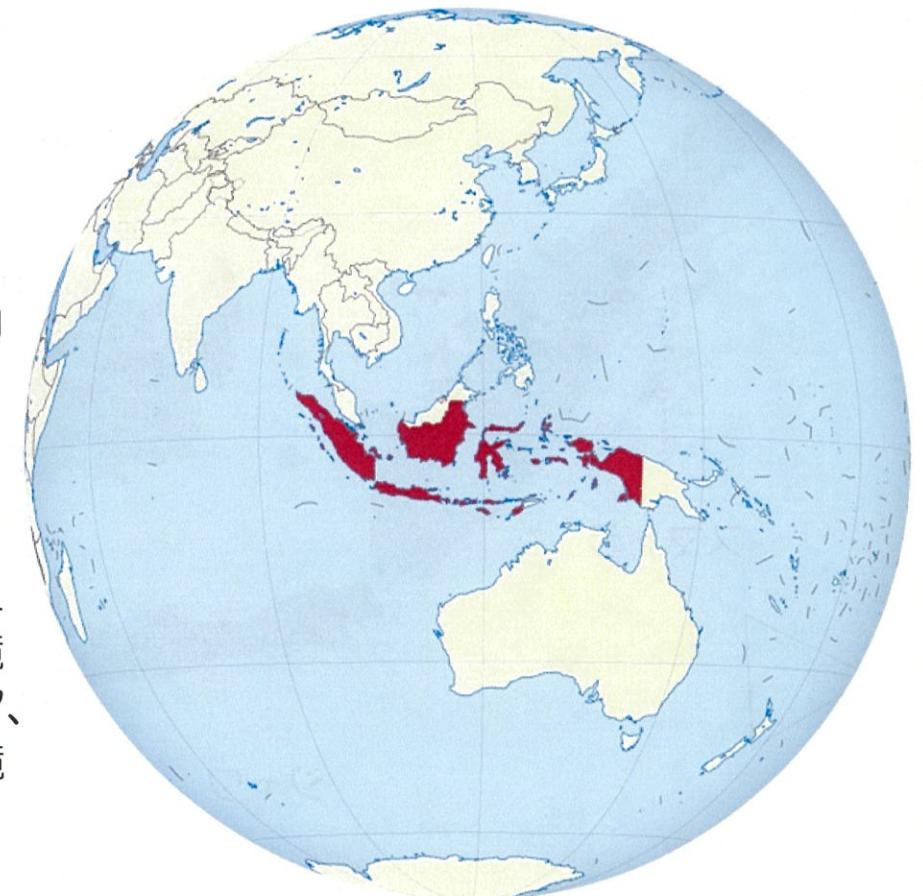


プレゼンテーション 主なポイント

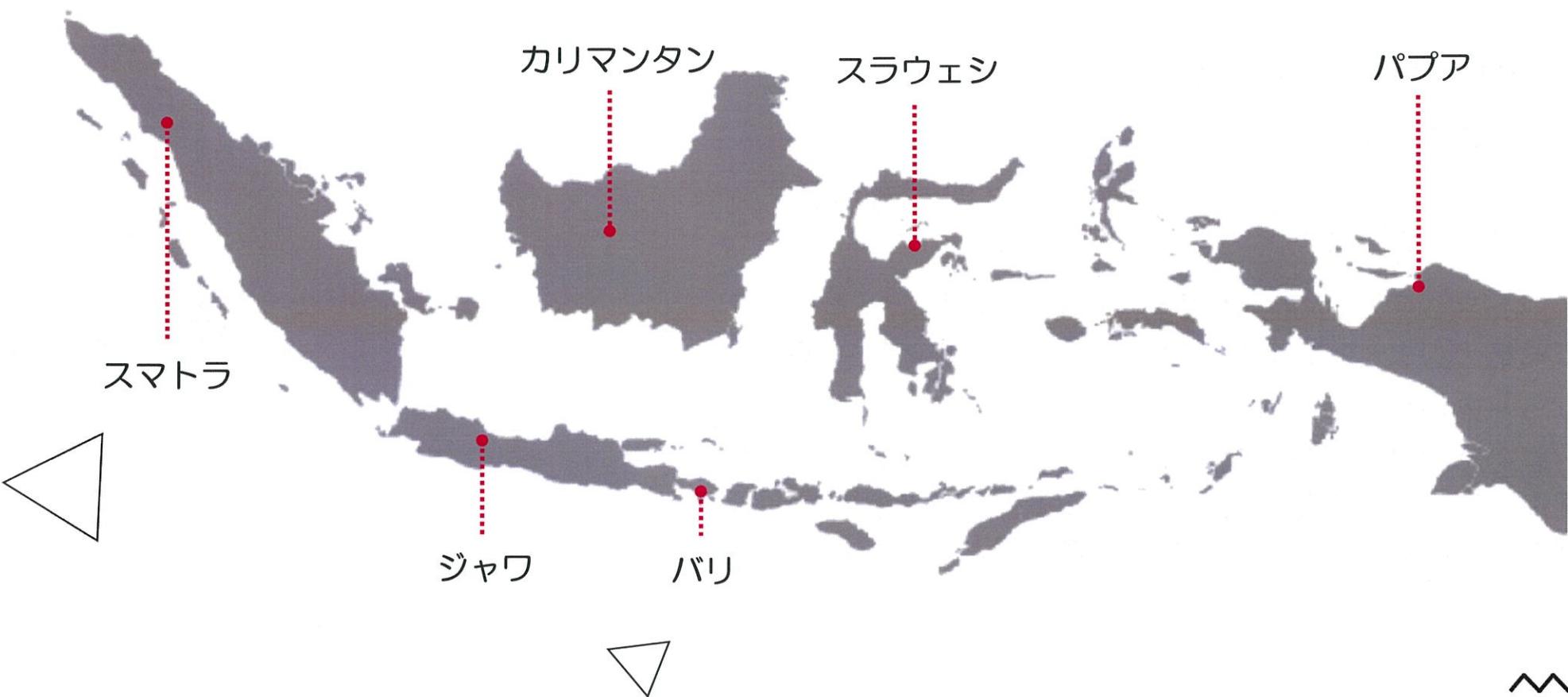
- ✓ 地理
- ✓ 歴史
- ✓ 政府制度
- ✓ 人口統計
- ✓ 経済
- ✓ 文化
- ✓ 観光
- ✓ プチ情報

地理

- 世界最大の群島国家
- 3つの時間帯に分かれている
- 17,380の島々と38の州から構成されている
- インドネシアは赤道沿いに位置し、年間を通じて比較的均一な気候を持つ
- インドネシアには2つの季節があり、雨季（11月～4月）と乾季（5月～10月）が存在し、夏や冬の極端な気候はない
- インドネシアは、カリマンタン島でマレーシア、ニューギニア島でパプア、ティモール島で東ティモールと陸上の国境を接している。また、海上では、シンガポール、マレーシア、ベトナム、フィリピン、パラオ、オーストラリアと海の国境を共有している



地図



歴史



1945年8月17日、影響力のある民族主義指導者であるスカルノとモハマッド・ハッタがインドネシアの独立を宣言し、それぞれ大統領と副大統領に任命された



首都: ジャカルタ
通貨: ルピア (IDR)
国家原則: パンチャシラ
政府制度: 大統領制
国歌: インドネシア・ラヤ

ガルーダ・パンチャシラ



- シンプルな二色の旗で、上下に等しい幅の赤（上）と白（下）の横帯で構成されています。
- 赤は勇気を、白は純粋な意思を象徴しています。
- また、赤は血、白は精神を表す色でもあります。

国の象徴

- 紋章の主な部分は、黄金の神話上の鳥ガルーダであり、その旨には盾があり、脚で握った巻物には国の標語「ビンネカ・トゥンガル・イカ」が刻まれています。この標語は、大まかに「多様性の中の統一」を意味します。
- 盾に描かれた5つの紋章は、「パンチャシラ」を表しており、これはインドネシアの国家哲学である5つの基本原則を象徴しています。

インドネシアの大統領



スカルノ
1945-1967



スハルト
1967-1998



B. J. ハビビ
1998-1999



アブドゥッラフマン・ワヒド
1999-2001



プラボウォ・スピアントロ
2024-現在



ジョコ・ウィドド
2014-2024



スシロ・バンバン
ユドヨノ
2004-2014



メガワティ
スカルノプトウリ
2001-2004

~~~~~ 人口統計

- インドネシアは世界で4番目に人口の多い国であり、中国、インド、アメリカ合衆国に次ぎます。
- インドネシアの人口は非常に多く、その大多数がインドネシア語を話しているため、インドネシア語は世界で最も広く話されている言語のひとつとなっています。

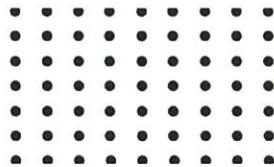
インドネシアの現在の人口

2億8160万

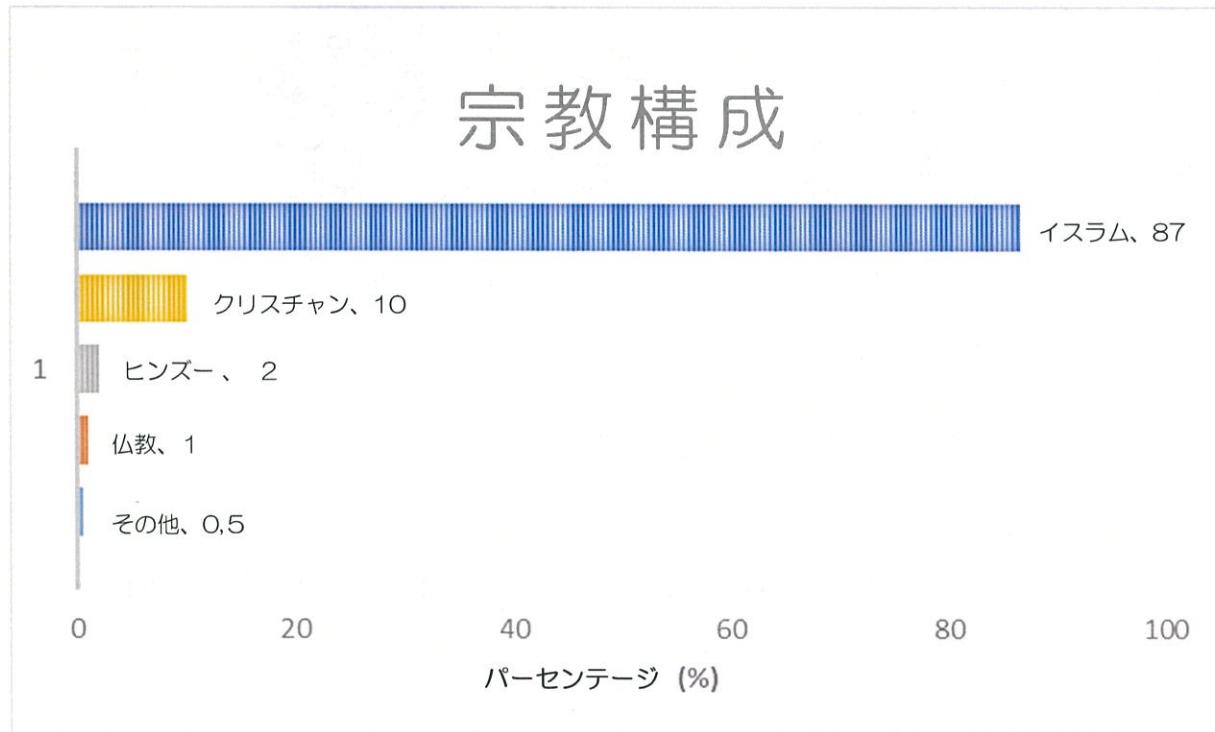
日本: 1億2450万



宗教



宗教構成



出典：インドネシア統計局

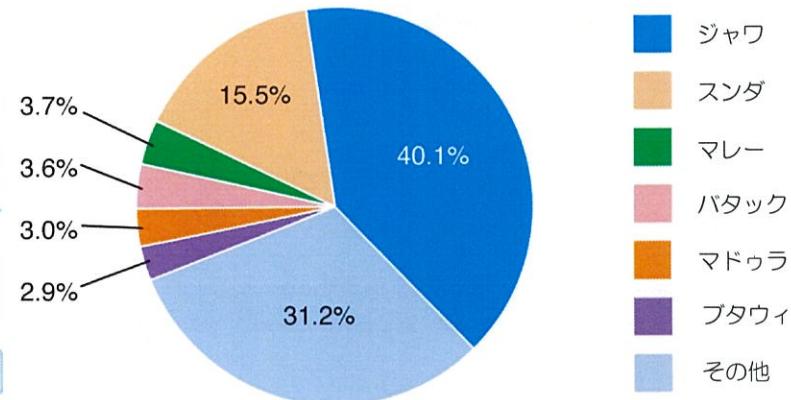


インドネシアの民族地図



インドネシアの民族

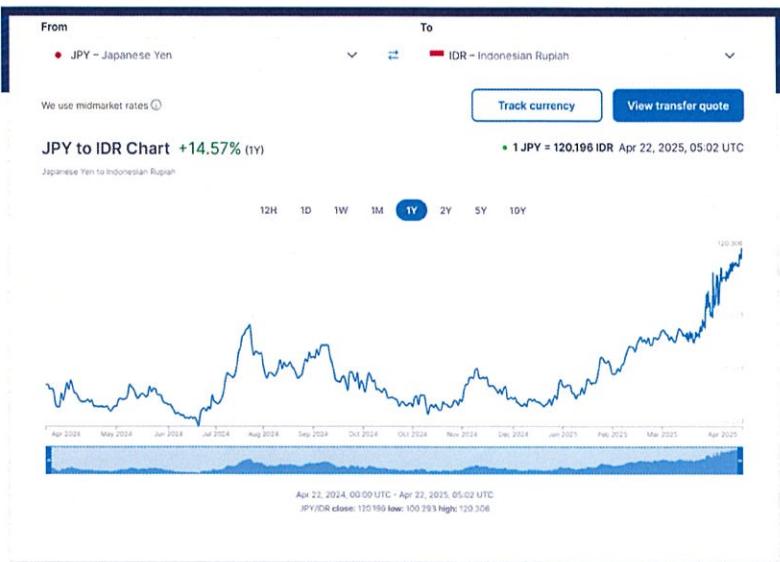
民族構成



- インドネシアは民族的に多様な国であり、約1,300の異なる先住民族が存在します。
- 民族的に非常に多様であり、300以上の地域言語が話されます。
- 国の公用語はインドネシア語であり、これはマレー語の一一種で、その権威ある方言を基にしており、何世紀にもわたって群島の共通語（リンガ・フランカ）として使られてきました。
- ジャワ人は最大の民族グループであり、人口の40.2%を占めています。



経済

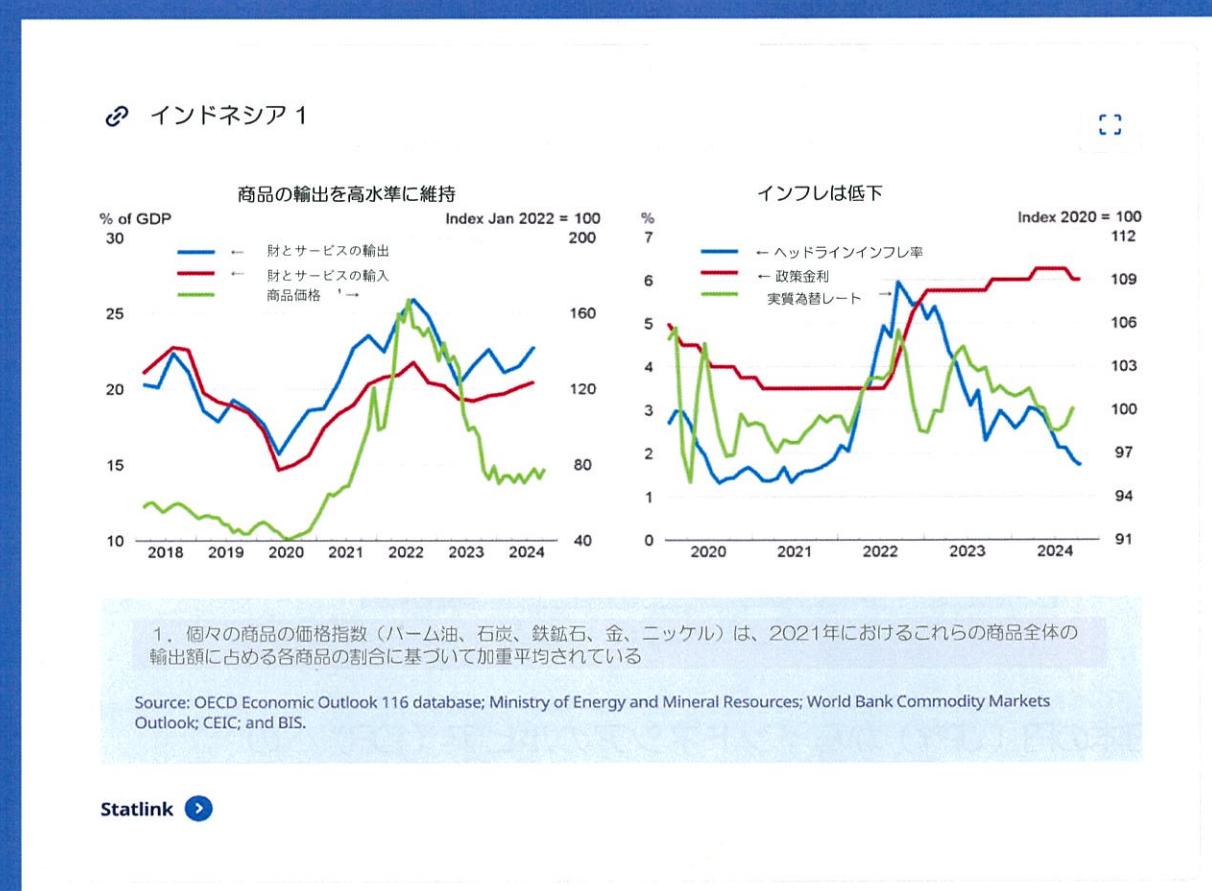


日本の円 (JPY) からインドネシアのルピア (IDR) への過去の為替レート

1 円 = **120** ルピア

国の通貨: ルピア





文化

- 音楽
- 踊り
- 建築
- 衣類
- 食品



音楽

- インドネシアの音楽は、その文化的多様性や地域の音楽的創造性を示すとともに、現代のインドネシア音楽シーンを形成した外来の音楽的影響も反映している。
- インドネシアには数千もの島々が存在し、それぞれ独自の文化的・芸術的な歴史と特色を持っている。
- 何百もの異なる音楽の形態が存在し、それらはしばしば踊りや演劇とともに演奏される。



アンクルン



コリンタン



ササンド



ガムラン

踊り

- インドネシアには1,300以上の民族グループが存在している。
- インドネシアの伝統において、舞踊は伝統舞踊と現代舞踊の2つの種類に分けられる。





バリ



南スラウェシ



西スマトラ

伝統的な建築

何世紀にもわたり、インドネシアの伝統的な建築様式は、インドネシア各地の集落の形成に影響を与えてきた。その建築は一般的に高床式の木造構造で、大きな屋根が特徴となっている。インドネシア建築における最も支配的な外来の影響はインド文化によるものだが、19世紀以降はヨーロッパの影響が特に強く、現代のインドネシア建築は国際的なスタイルを取り入れている。



西スマトラ



南スラウェシ



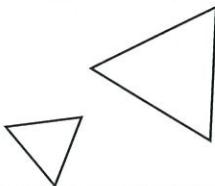
パプア

伝統的な衣服

- インドネシアの各民族は、それぞれ独自の地域の伝統衣装を持っています。
- インドネシア語でこれらの地域の衣装はバジュ・アダットまたはパカイアン・アダットと呼ばれ、インドネシアの伝統的な織物の伝統と工芸に由来しています。
- インドネシアの伝統衣装を見る最良の機会は、伝統的な結婚式に参加することです。

バティック ~~~

- ・ バティックは、伝統的に手作業によるろうけつ染め技法を用いて繊細な模様を作り出す布です。
- ・ 現在バティックシャツはインドネシア（特にジャワ）の男性に広く着用されており、結婚式、伝統儀式、公式会議、地域の集まりなどのフォーマルな場面で着用されることが一般的である。
- ・ バティックは、インドネシア文化の重要なアイデンティティの一つとして認識されている。
- ・ UNESCOは2009年10月2日、インドネシアのバティックを「人類の口承及び無形文化遺産の傑作」として認定した。





サテ（串焼き）



トゥンペン・ライス
(円錐形の米)



パペダ

食品

- インドネシア料理は、世界で最も多様で活気に満ち、豊かな風味にあふれている。
- インドネシアには多くの地域料理が存在し、それらは先住民族の文化を基盤としながら、中国、ヨーロッパ、中東、インドなどの外来の影響を受けて発展してきた。
- 米は主要な主食であり、肉や野菜の副菜とともに提供される。

観光

- 2024年12月までに、外国人観光客の訪問者数は13,902,420人に達した
- マレーシア、シンガポール、オーストラリア、中国、東ティモールは、インドネシアへの訪問者数が最も多い上位5カ国である
- 2024年の期間における日本人観光客インドネシア訪問者数は、338,934人であり
- インドネシア観光の主要な魅力は、自然と文化である



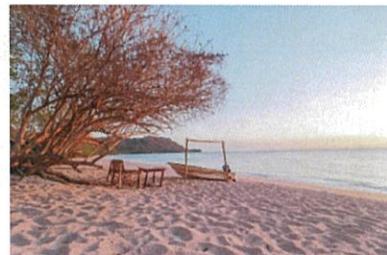
プランバナン

持続可能な観光に焦点を当てた 5つの最優先目的地



マンダリカ

- ・ 海洋生態系の保全
- ・ 地域社会の参加
- ・ エコツーリズムの持続可能の促進



リクパン

- ・ サンゴ礁の保全
- ・ 持続可能なインフラの開発
- ・ 観光コミュニティ向けの研修



ボロブドゥール

- ・ 観光客の交通管理
- ・ 史跡保存
- ・ 文化に基づく観光の促進



トバ湖

- ・ 湖の修復イニシアチブ
- ・ 地域農業のための農業生態学
- ・ 再生エネルギーの利用促進

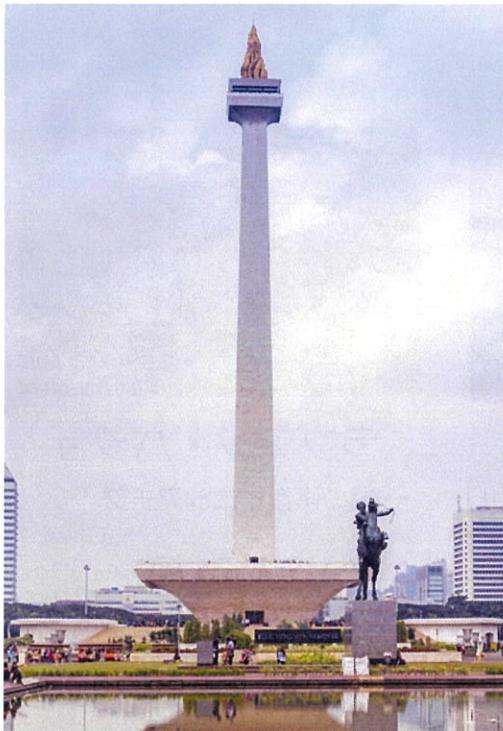


ラブアン・バジョ

- ・ 湖の修復イニシアチブ
- ・ マングローブの植林
- ・ 環境管理コミュニティの参加



人気都市



ジャカルタ



スラバヤ



マカッサル



メダン